

# 国家崩壊時の教訓と歴史発展パターン

大谷正幸（金沢美術工芸大学）

「欠けているのは全体的な視点だ。  
崩壊とはどのようなもので、何が引き  
金となり、結果として「現世代」にど  
のような心理的、社会的、政治的な  
影響を与えるか。崩壊に応用できる学  
際的な学問が一つ、欠けている」

(『崩壊学』 p.19)

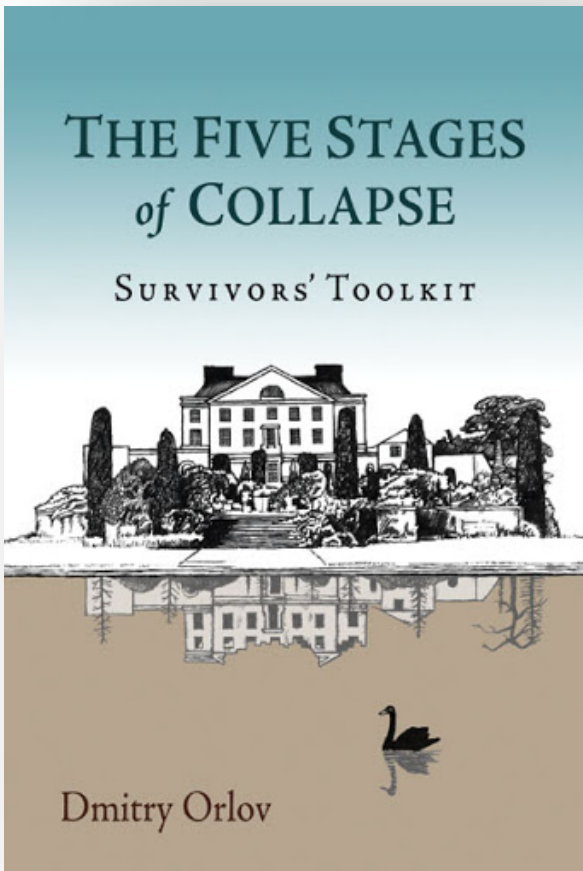
「ロシア系アメリカ人でエンジニアのドミートリー・オルロフは、旧ソ連邦の崩壊を、米国の崩壊と比較する研究で有名になった。彼は最近、新しい理論の枠組みを提唱、そのなかで崩壊は五段階に分解できるとしている。」

(『崩壊学』 p.166)

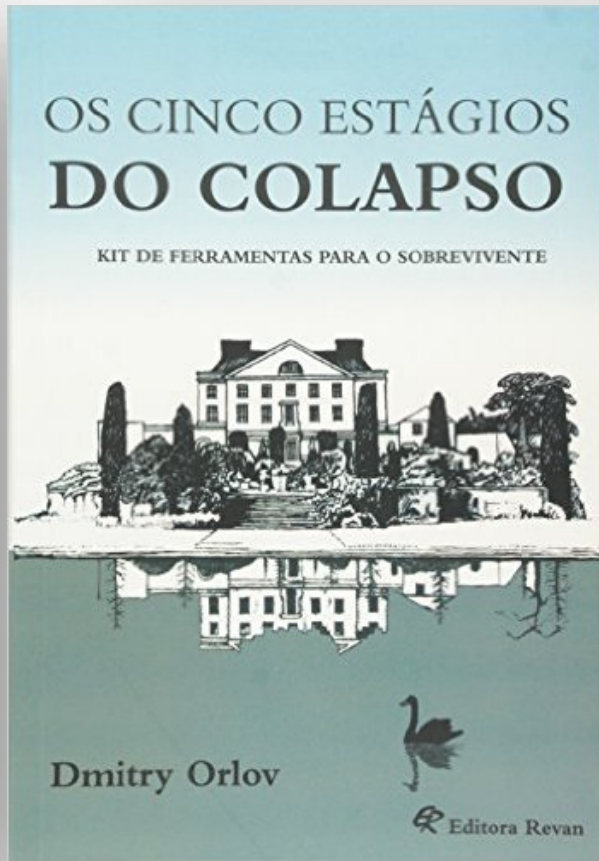
1金融 2商業 3政治 4社会 5文化

信頼の喪失という気持ちの変化にもとづく

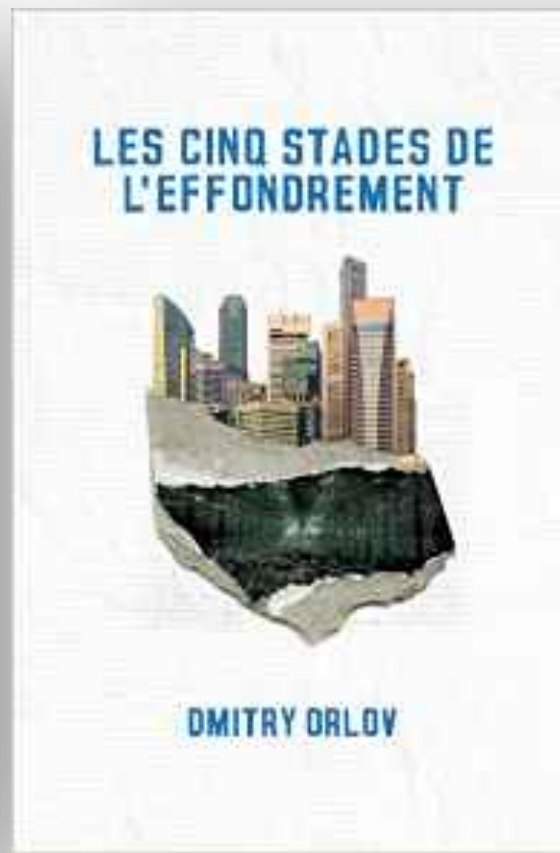




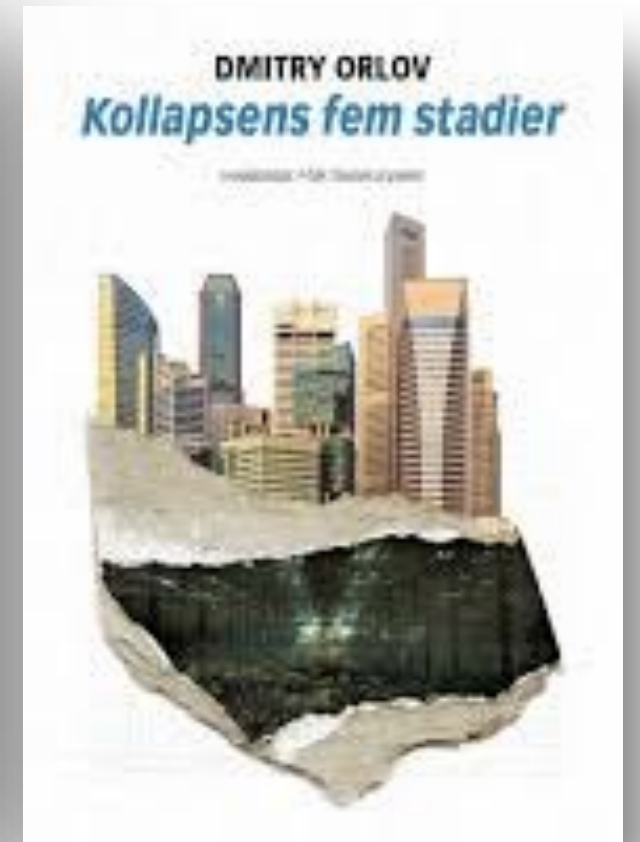
英



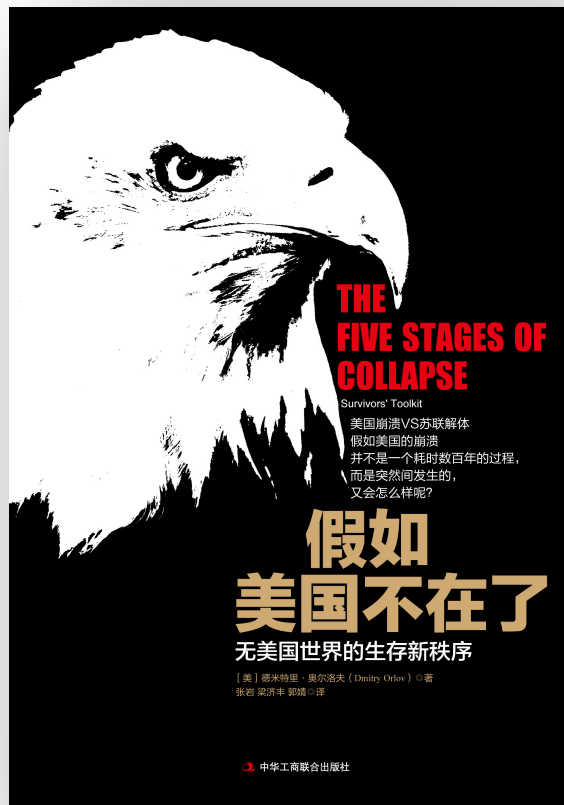
葡



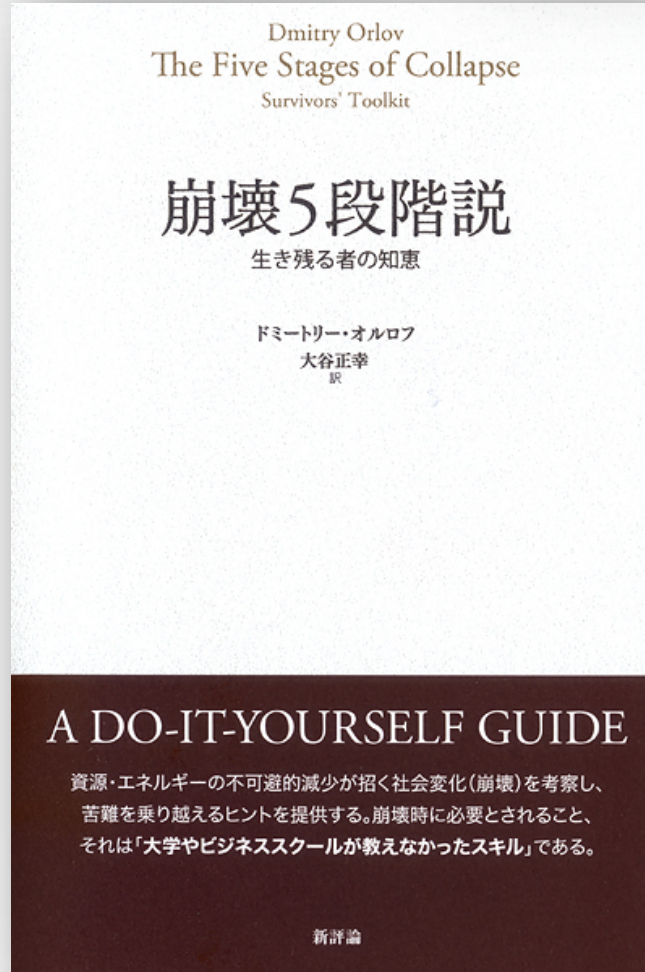
仏



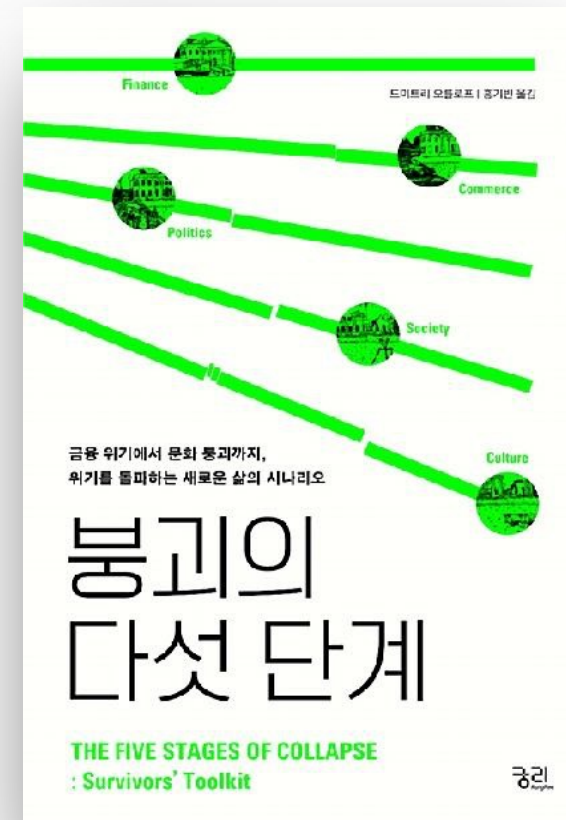
瑞



中



新評論



韓



# 一般社団法人 縮小社会研究会



[TOP](#)

[講演資料](#)

[論説](#)

[論文集](#)  
[「縮小社会研究」](#)

[刊行物](#)

[分科会](#)

[私にとっての縮小社会](#)



[設立趣意書](#)

[定款](#)

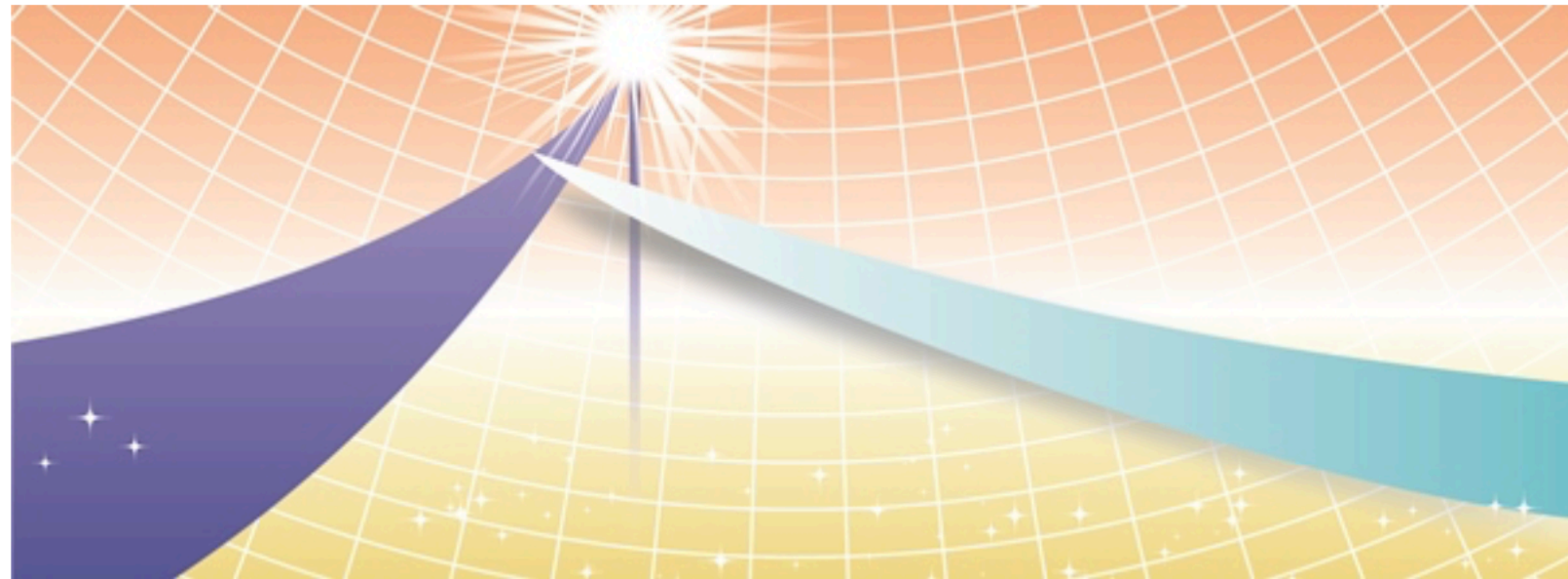
[理事](#)

[入会案内](#)

◆[入会申込書](#)

◆[入会規則](#)

◆[会費規則](#)



## INFORMATION

(アンダーラインがあるものはクリックすると表示されます)

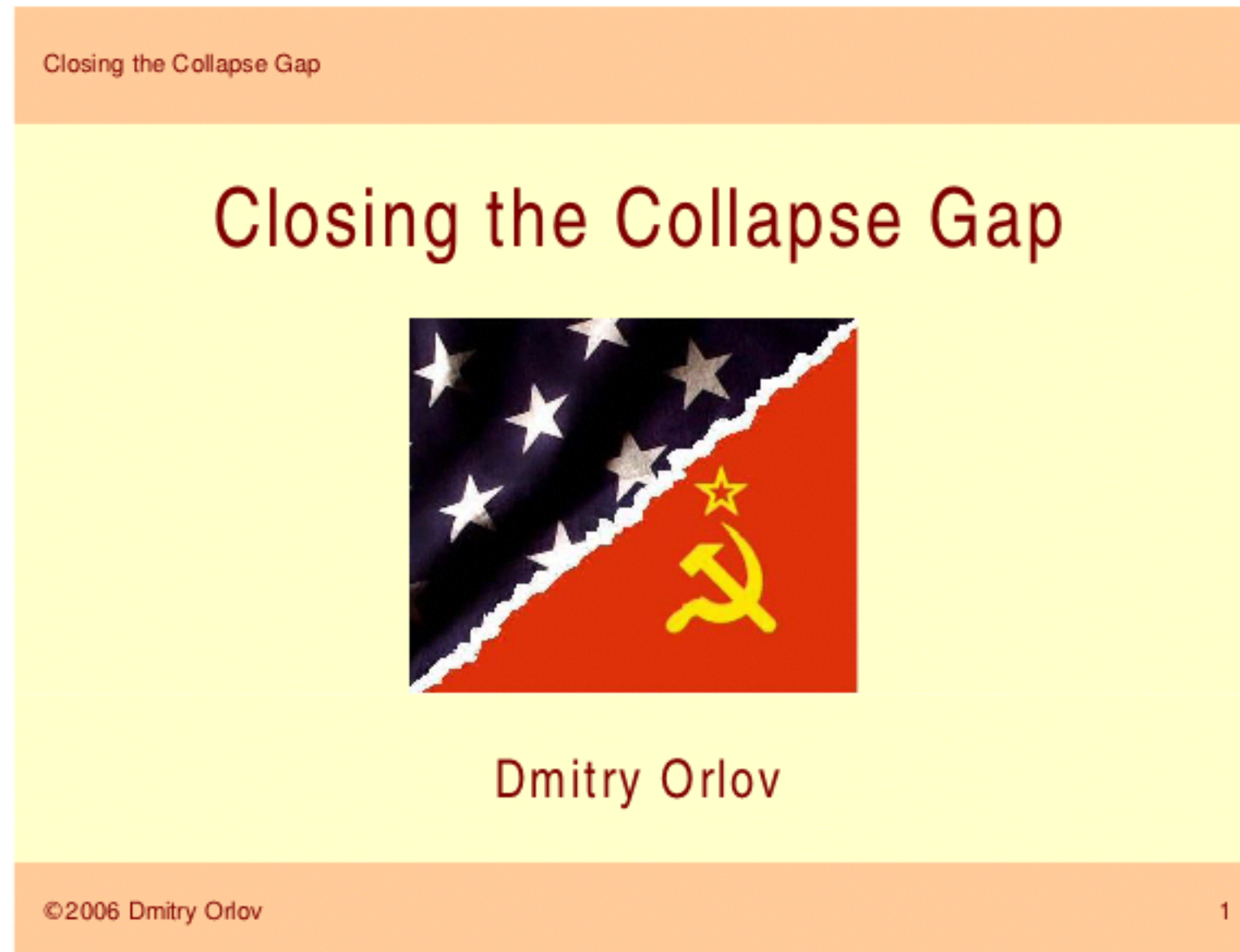
2019.8.20

[ドミートリー・オルロフ著『アメリカの世紀後のためのソビエト後の教訓』](#)（翻訳::大谷正幸）が論説に掲載されました。  
ソ連の崩壊で何が起こったか、アメリカの崩壊はどうなるのか、など、文明の崩壊について論じています。  
日本についても、示唆の多い著述です。

# CLOSING THE 'COLLAPSE GAP': THE USSR WAS BETTER PREPARED FOR COLLAPSE THAN THE US

By [Dmitry Orlov](#), originally published by Energy Bulletin

December 4, 2006



<https://www.resilience.org/stories/2006-12-04/closing-collapse-gap-ussr-was-better-prepared-collapse-us/>

# 東西冷戦時代

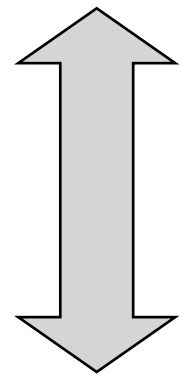
ヤルタ会談（1945年<sub>2月</sub>）・・・バルカン半島の統治で英ソ対立

チャーチル 鉄のカーテン演説（1946年<sub>3月</sub>）

トルーマン・ドクトリン（1947年<sub>3月</sub>）

“RECOMMENDATION FOR ASSISTANCE TO GREECE AND TURKEY”

“... The seeds of totalitarian regimes are nurtured by misery and want. They spread and grow in the evil soil of poverty and strife....”



**資本主義・自由主義 vs. 共産主義・社会主義**

**米ソの二大超大国が競い合った時代**

マルタ会談（1989年<sub>12月</sub>）・・・冷戦終結

ソビエト崩壊（1991年<sub>12月</sub>）

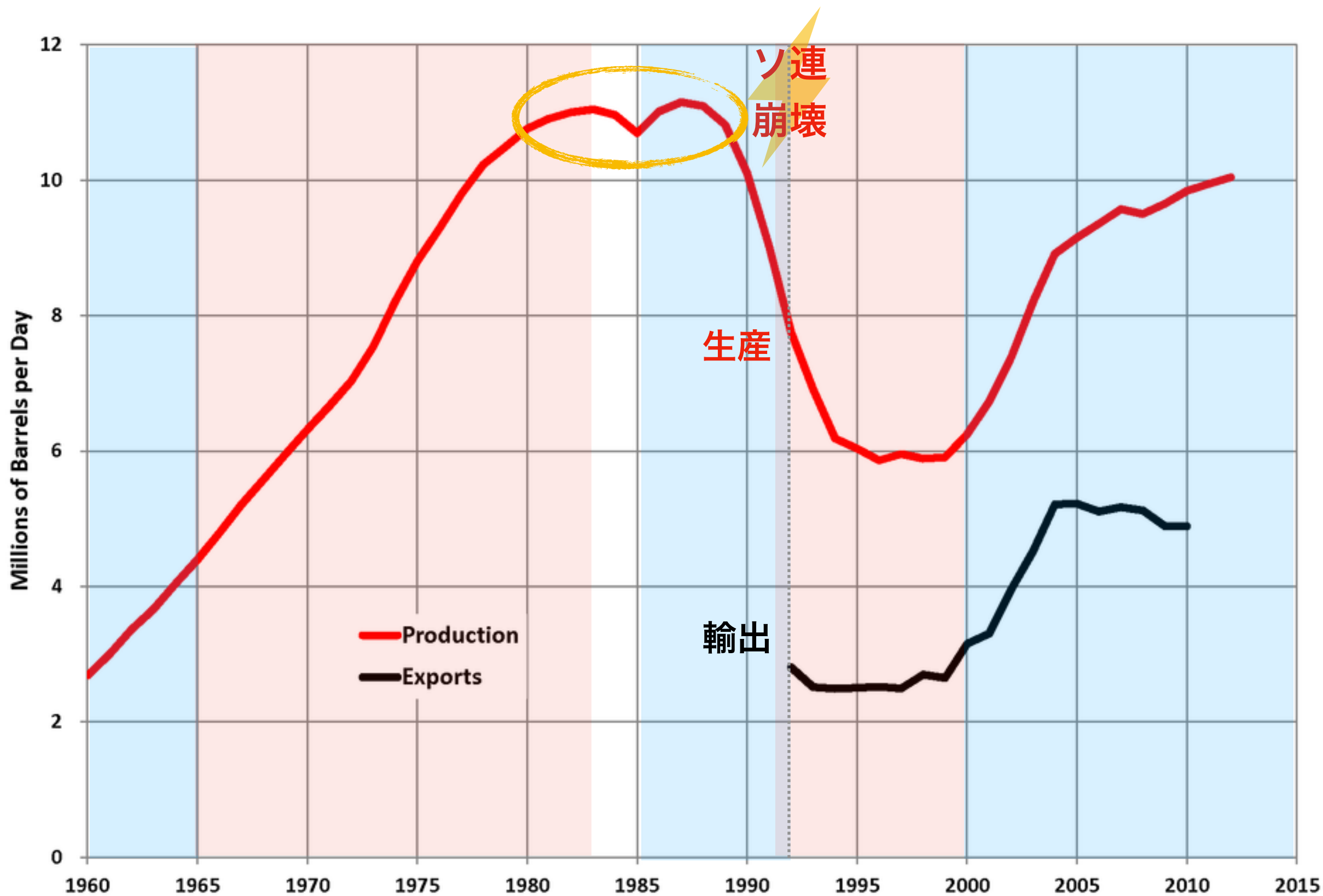


# 冷戦時代(1947-1989)の米ソ二大超国の特徴

- 技術進歩による経済成長路線
- 軍需産業を軸とした帝国
- 諸外国に対してイデオロギーの浸透と経済管理
- 宇宙開発競争
- 兵器開発競争
- 囚人数競争

**ソビエト崩壊に寄与したことと同様の問題を  
米国は抱えている。**

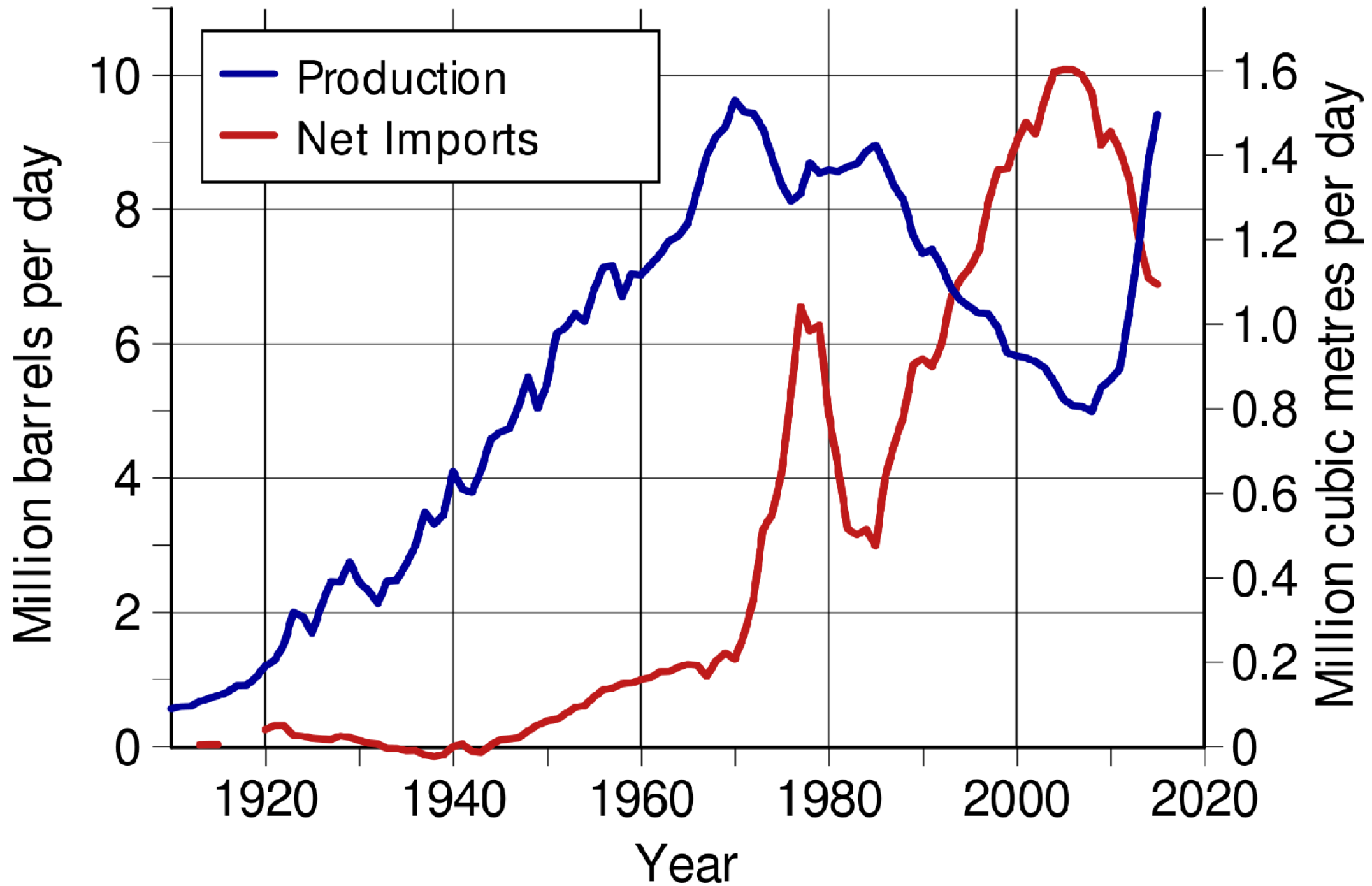
- **軍事介入の泥沼化**
- **青天井の軍事予算**
- **自国産原油の減耗**
- **財政赤字、対外債務**
- **政治腐敗**



# ソビエト連邦（ロシア連邦）の石油生産量の推移



# U.S. Crude Oil Production and Imports



# ソビエト崩壊直後の環境はどうだったか？

社会的混乱、失業、ホームレス、自暴自棄

必需品（食料、燃料、医薬品）の不足→インフレ

基本的な維持管理業務の放棄 → インフラ劣化

災害対応は優先されない

長期的な事業計画・新規事業の不可能

# ソビエト崩壊直後の環境はどうだったか？

既存インフラ及び既存在庫の活用

資産剥奪、廃品回収

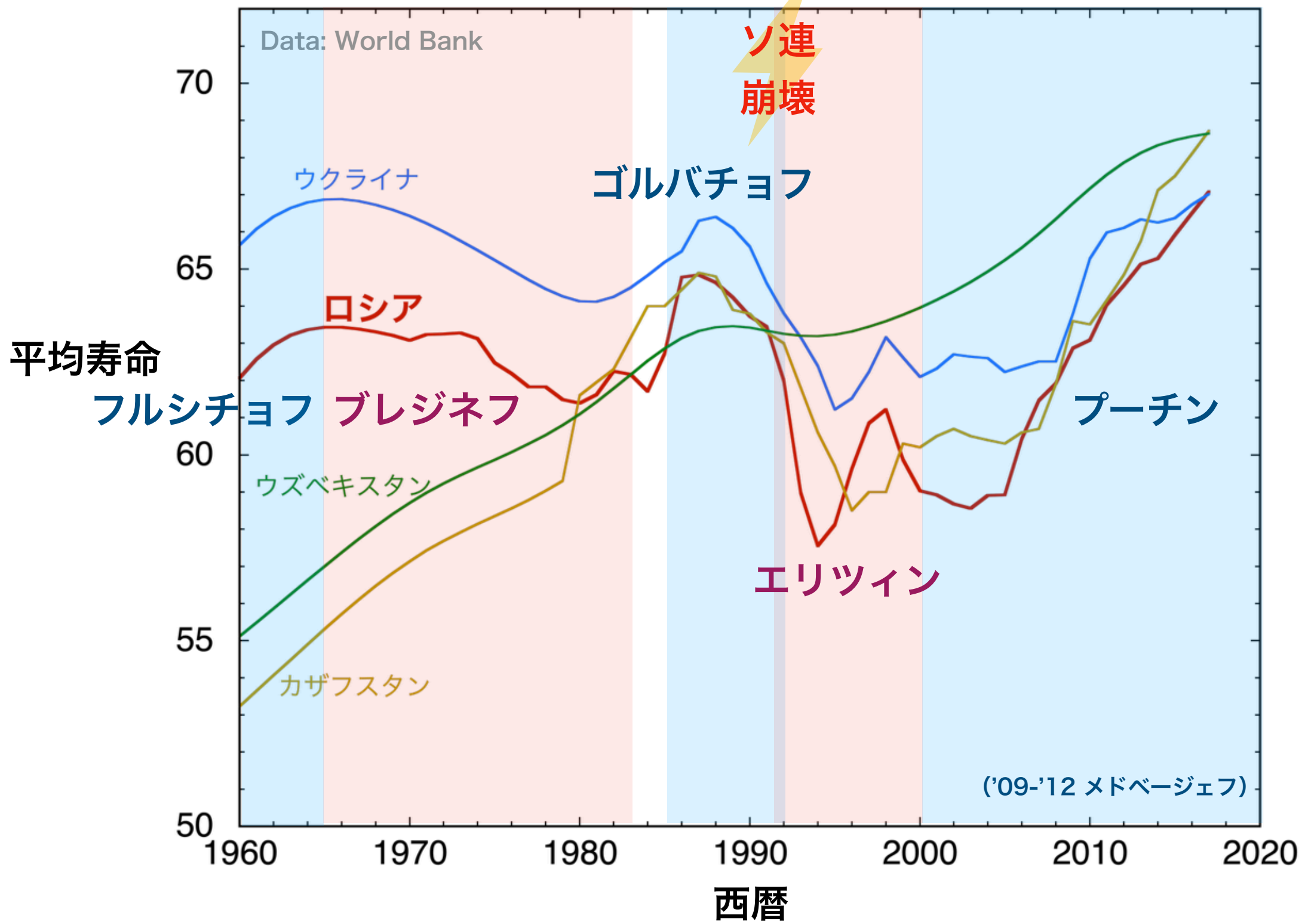
物々交換経済が自発的かつ速やかに発生

それまでの権威者が敬意を払われなくなる

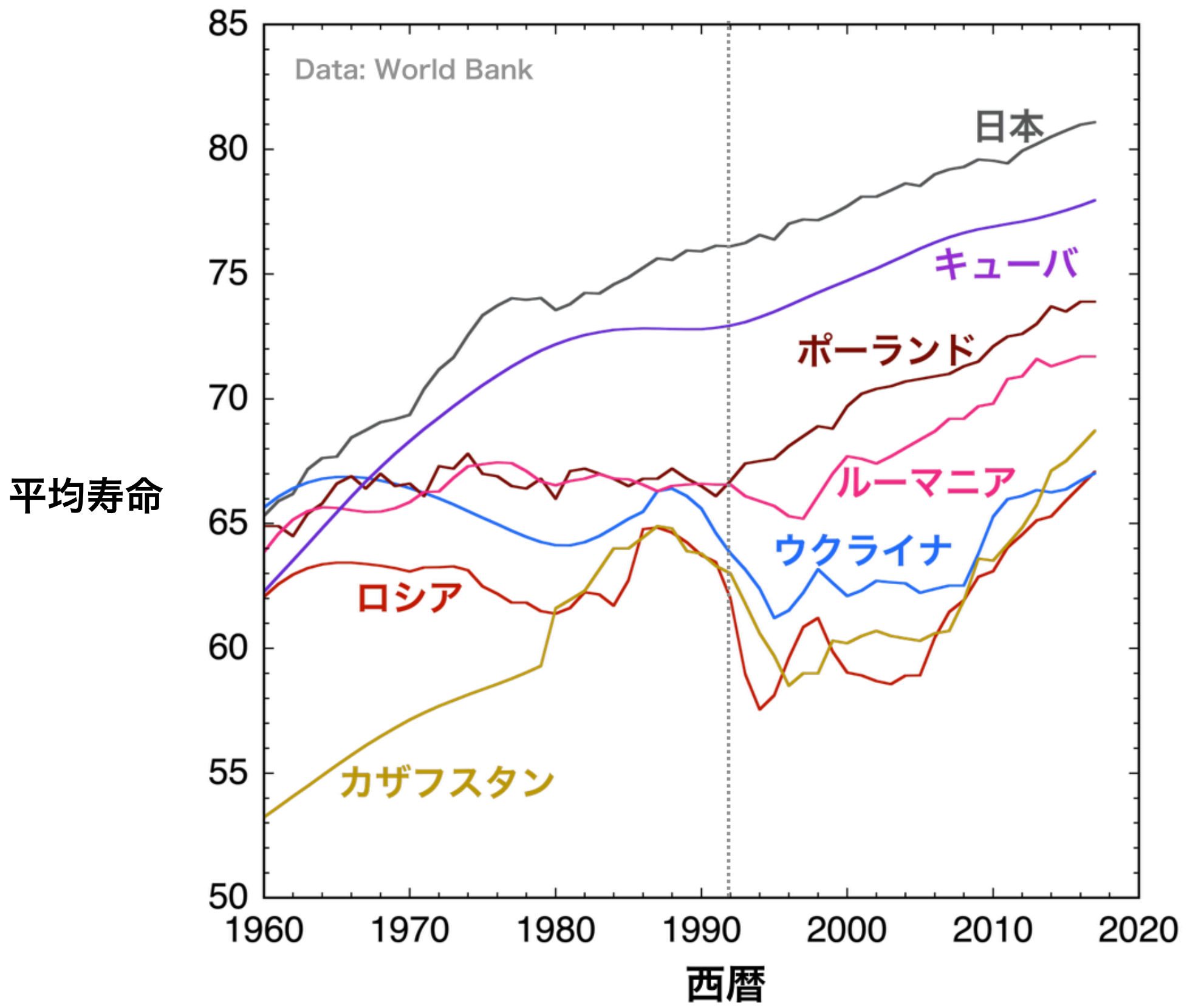
ソーシャル・キャピタル（人間関係）の重要性

無法状態 → 組織的な犯罪的営為、用心棒ビジネス

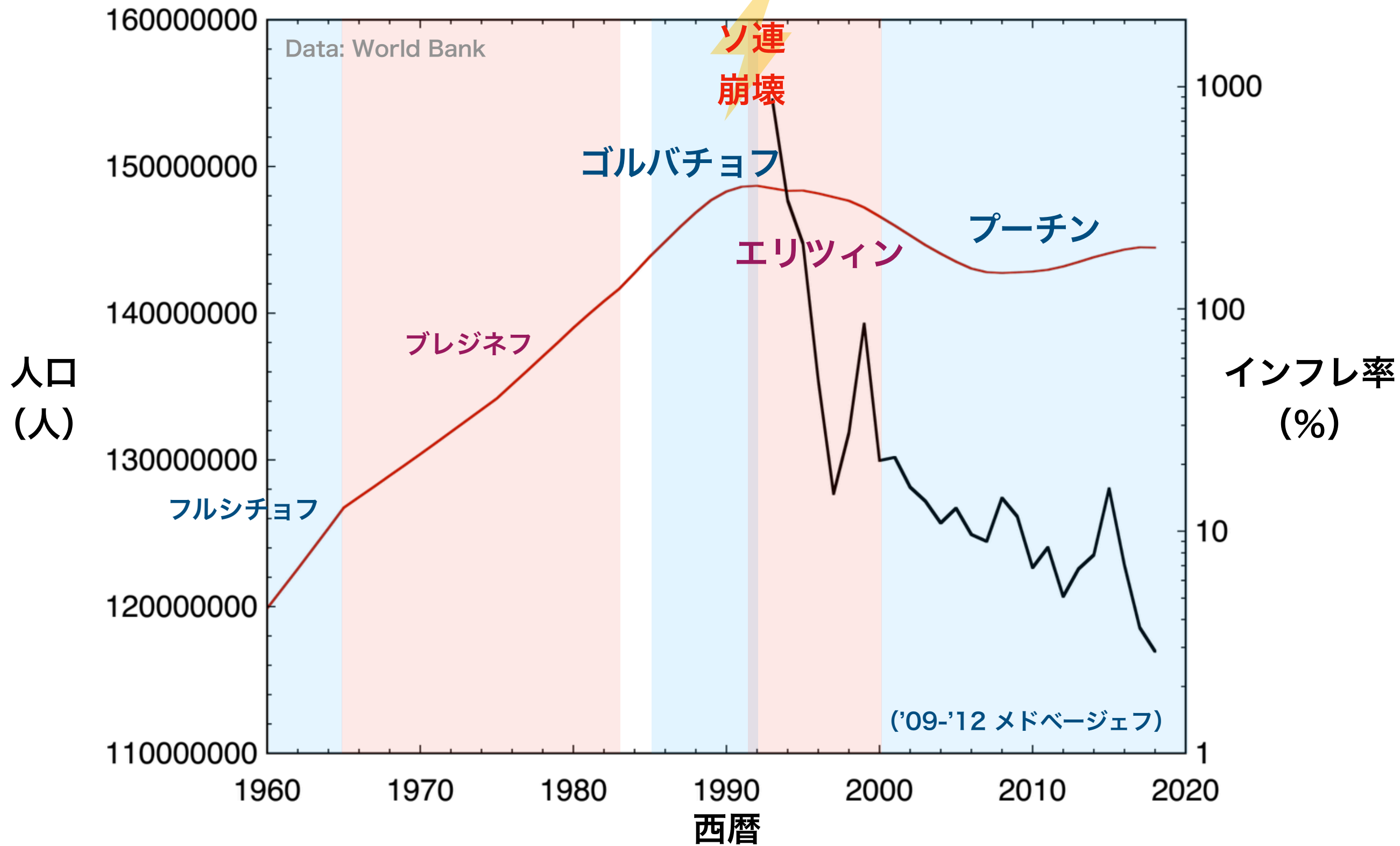




# 男性平均寿命の推移



# 男性平均寿命の推移



# ロシアの総人口及びインフレ率の推移



# CLOSING THE 'COLLAPSE GAP': THE USSR WAS BETTER PREPARED FOR COLLAPSE THAN THE US

By [Dmitry Orlov](#), originally published by Energy Bulletin

December 4, 2006

Closing the Collapse Gap

**Conclusion:**

the Soviet Union  
was much better-prepared  
for economic collapse  
than the United States is

©2006 Dmitry Orlov

19

<https://www.resilience.org/stories/2006-12-04/closing-collapse-gap-ussr-was-better-prepared-collapse-us/>

## 住環境



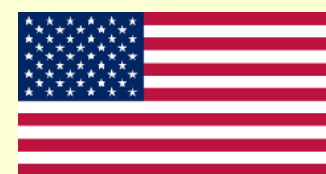
国家所有、無料貸出

公共交通機関

崩壊後も居住可

三世代同居

転居少なく顔見知り



個人所有（抵当権）、賃貸

マイカー

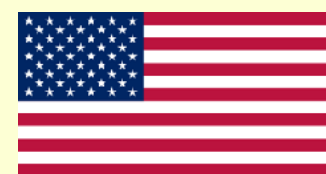
崩壊前からホームレス化

郊外からの難民発生

单身・核家族

孤独

## 雇用環境



主に公的部門

主に民間部門

業務遅延

閉鎖

給与遅配

解雇

異動

突然の失職

過剰在庫

ジャストインタイム物流

崩壊後の物々交換

## 食と医



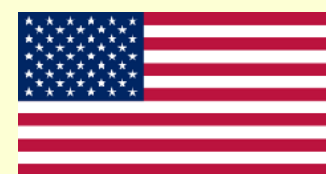
家庭菜園

地産地消

家庭料理

無償の医療

予防医学



スーパーマーケット

遠方からトラック輸送

ファーストフード

医療産業

救急医療、延命治療、

精神薬理、美容整形・・・



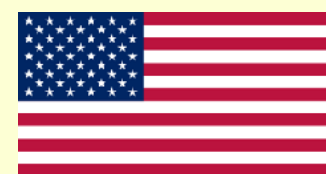


## ダーチャ дачи

**フルシチョフ時代の処女地開拓にも関わらず食料問題→夏のコテージ開発**

**4反程度の土地付き別荘**

## 教育



一般には8年で十分

12 + 4年

徒歩通学

バス・マイカー通学

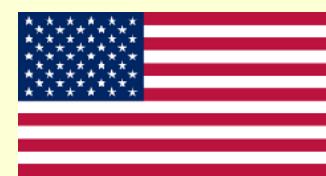
近隣の小規模学校

都市のマンモス校

'90口スト・ジェネレーション

非識字率の高さ

# 消費



政府コスト

中国の利益

消費者向け製品不足

購買力不足

修理

計画的陳腐化

使い捨て文化

# ソビエト崩壊からわずか10年で ロシアが再生できた秘訣は何か？

住宅事情の悪さ

食料問題

官僚の対応のまずさ

汚職の横行

無駄と非効率

政府による資産運用のまずさ

図らずも、精神的にも肉体的にも  
崩壊に対する備えを築いていた。

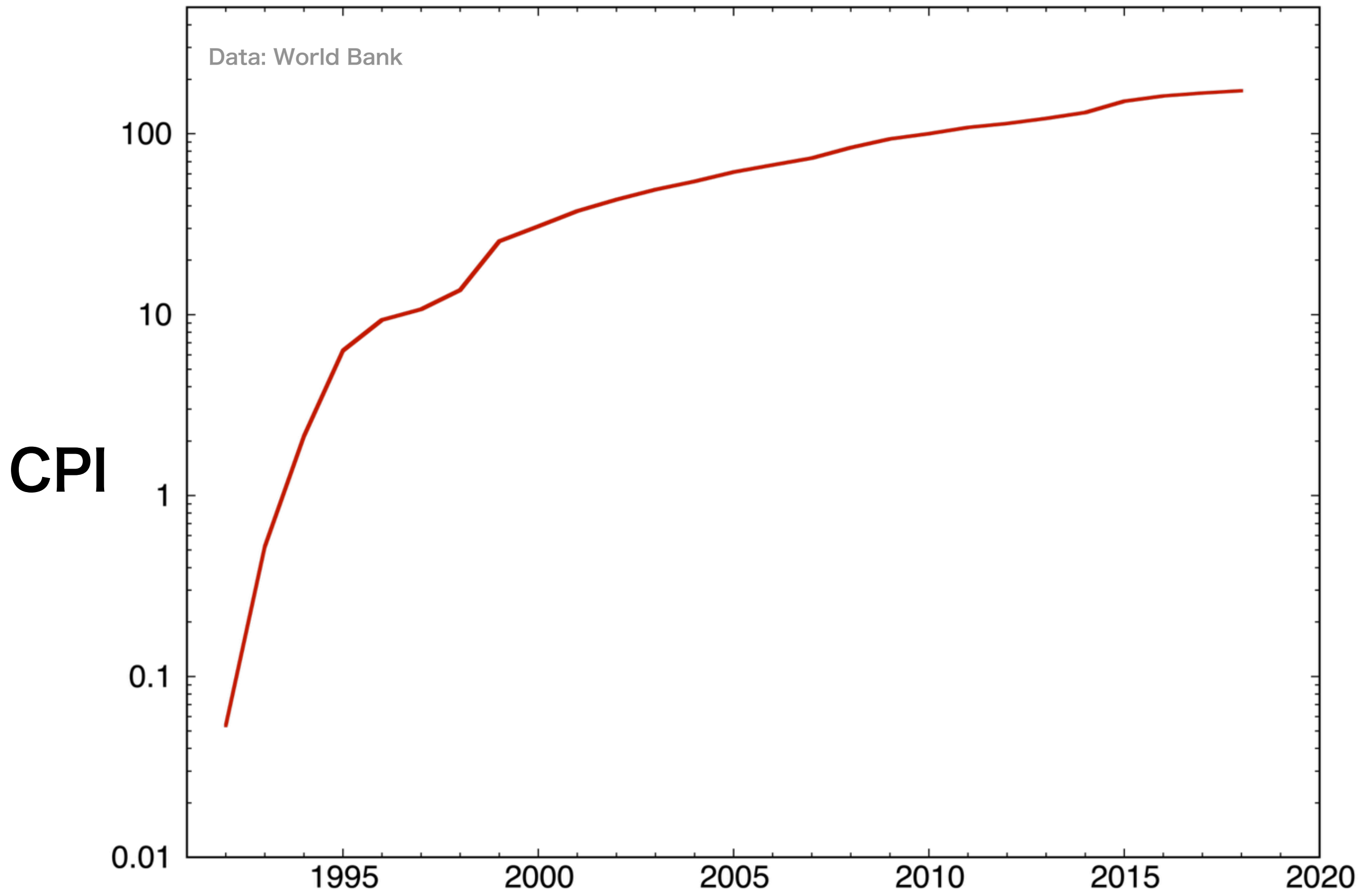




# マガジン МАГАЗИН

(画像の出典元 : <http://90s.by/years/1990/chelnoki.html> )





**ロシアの消費者物価指数(2010=100)の推移**



# チェルノキ ЧЕЛНОК



=



=



Амур 黑龙江



# ヴァラフォルカ барахолка

(画像の出典元：<http://90s.by/years/1990/chelnoki.html>)





 満州  
Маньчжурия

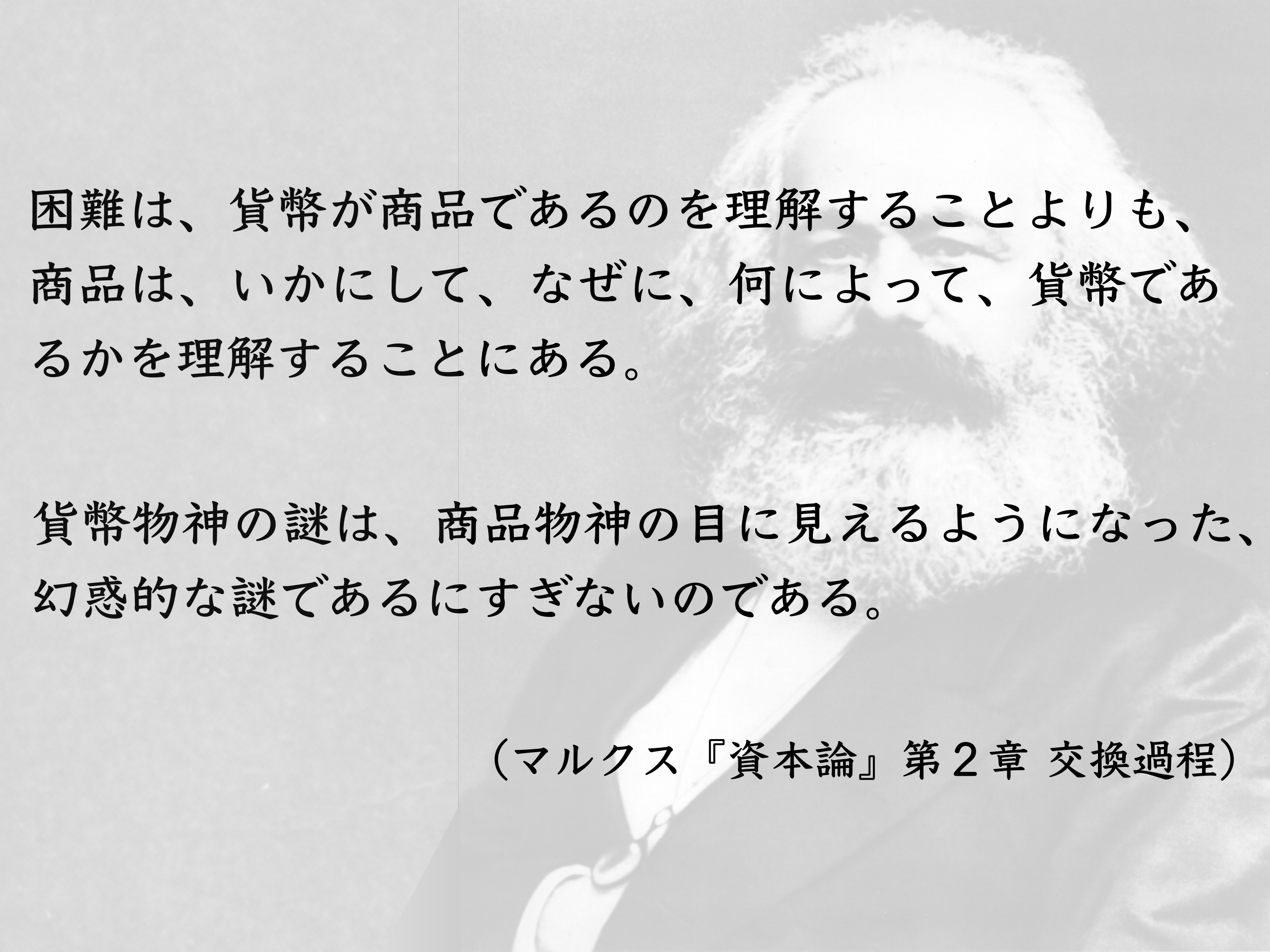


 ブラゴベシチェンスク  
Благовещенске

## チェルノキを記念した彫刻

画像の出典元：<https://ru.wikipedia.org/wiki/Челноки>





困難は、貨幣が商品であることを理解することよりも、商品は、いかにして、なぜに、何によって、貨幣であるかを理解することにある。

貨幣物神の謎は、商品物神の目に見えるようになった、幻惑的な謎であるにすぎないのである。

(マルクス『資本論』第2章 交換過程)

禍福は糾える縄の如し

意図せざる結果

unintended consequence



「停滞の時代」と呼ばれるが、  
「教養ある国際人たるソビエト人」を育てていた。

西側文化を嗜む → 闇取引

ペレストロイカ

1987年6月 「経済活動への党の介入排除」

営業の自由、商業の自由が促され、

企業の自主管理、独立採算制も導入

チェルノキ  
フリマ

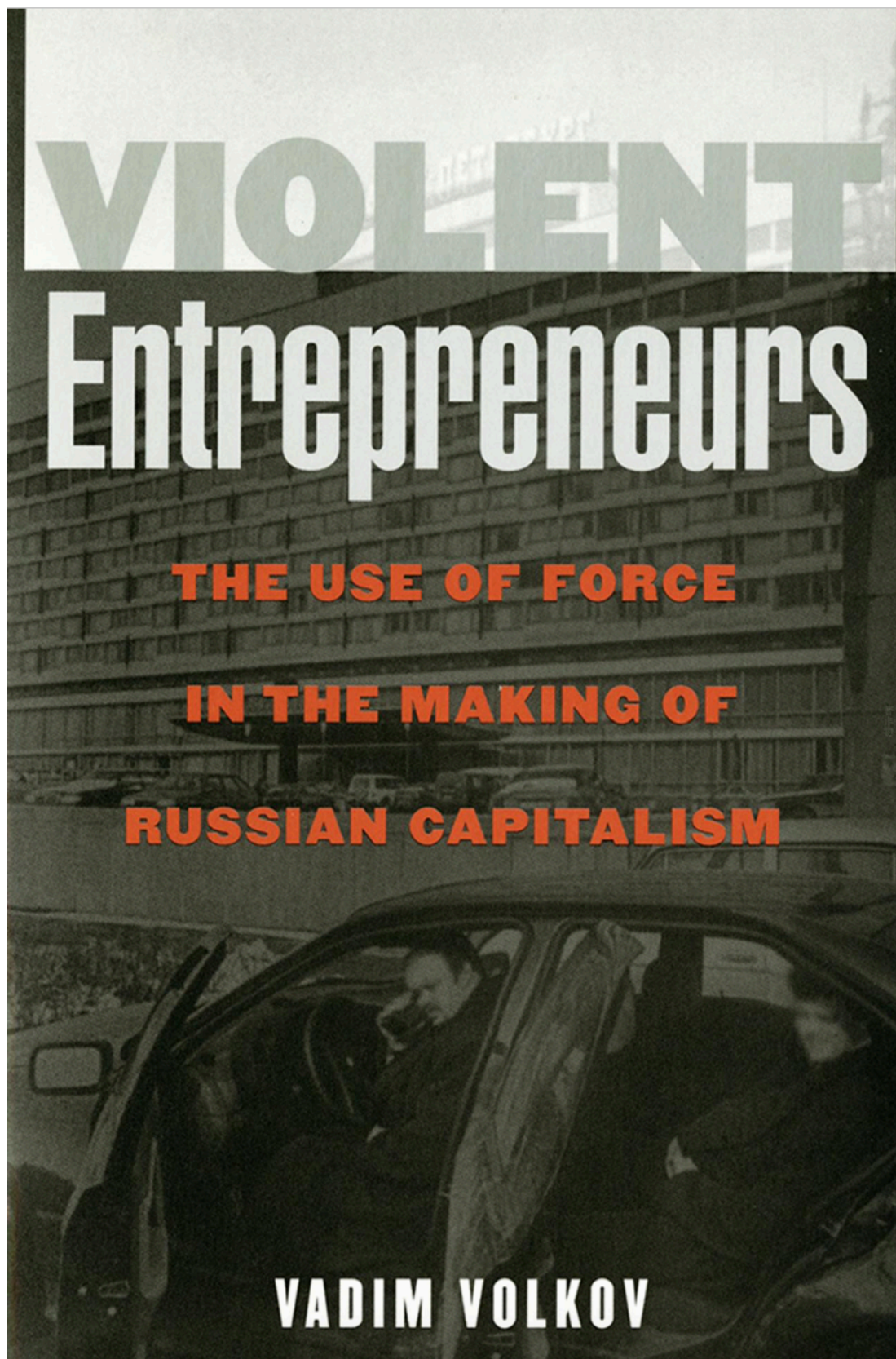
レーニン主義の神託者としての党、  
社会を指導することが期待されていた党に対して  
信頼の喪失という気持ちの変化





**1991年8月、チェーカー（秘密警察、後の国家保安委員会 KGB）の初代議長フェリックス・ジェルジンスキーの銅像が倒された。**





(2002年、コーネル大学出版局)

ヴァジム・ヴォルコフ

欧州大学（サンクトペテルブルク）

法の支配研究所所長

社会学博士（ケンブリッジ大学）

[書籍] [Violent entrepreneurs: The use of](#)

[V Volkov - 2016 - books.google.com](#)

... Rather than redefine them, I chose to use different definitions of "entrepreneurship," and to study "organized violence in the em  
I consider the use of organized violence in the em

☆ 77 [引用元 980](#) [関連記事](#) [全 2 バージョン](#)



# ヴォルコフ教授の見立て

近代国家 武力・徴税・司法の独占に基礎を置く

1990年代のロシアは「国家の形成期」と捉えるべき

(ロシアの再生には潤沢な資源以外の理由がある)



# 営業の自由、商業の自由

チェルノキ、個人商店、民営カフェ、  
協同組合、株式会社、オリガルヒ・・・

税金

みかじめ料

ゆすりたかり  
用心棒ビジネス

政府



## KGB改革

組織再編、人員削減

クリシャ крыша

老舗犯罪組織

スポーツマン

チェチェン人マフィア

退役軍人

雇用問題

元KGB・元MVD職員

情報

FSB

## 顧客獲得競争



# 営業の自由、商業の自由

ゆすりたかり  
用心棒ビジネス  
みかじめ料 →

**クリシャ** крыша  
 老舗犯罪組織  
 スポーツマン  
 チェチェン人マフィア  
 退役軍人  
 元KGB・元MVD職員  
 FSB



減税

税金

抗争・再編

**強い国・法の独裁**

警察官・企業内の警護部門

私利私欲のオリガルヒを制圧し、国家再興

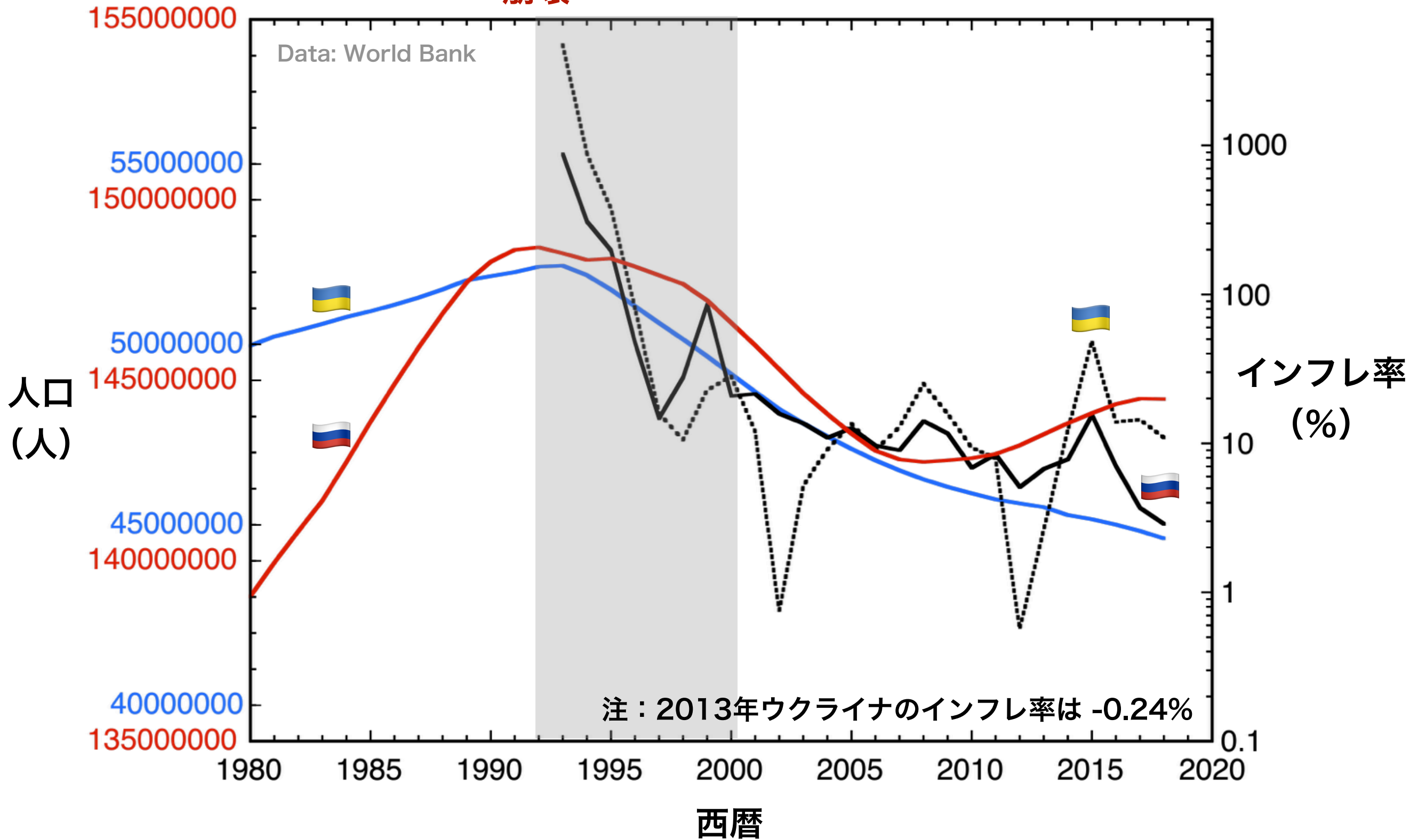
「繁栄と良好な生活水準こそが政府の主たる任務である・・・ところが、子供を持たないし、老後の暮らしも覚束ない・・・この人口減少傾向が続けば、国家の生き残りが脅かされるだろう。我々はまさに弱い国になる脅威に晒されている。今日、人口動態がもっとも憂慮すべきことの一つだ。」

(プーチン大統領就任後初の教書演説、2000年7月)

「政治的結合の目的は何か？それは、その構成員の保護と繁栄である。では、彼らが保護され繁栄していることを示す、最も確実な特長は何か？それは、彼らの数であり、人口である。」

(ルソー『社会契約論』)

# ソ連 崩壊

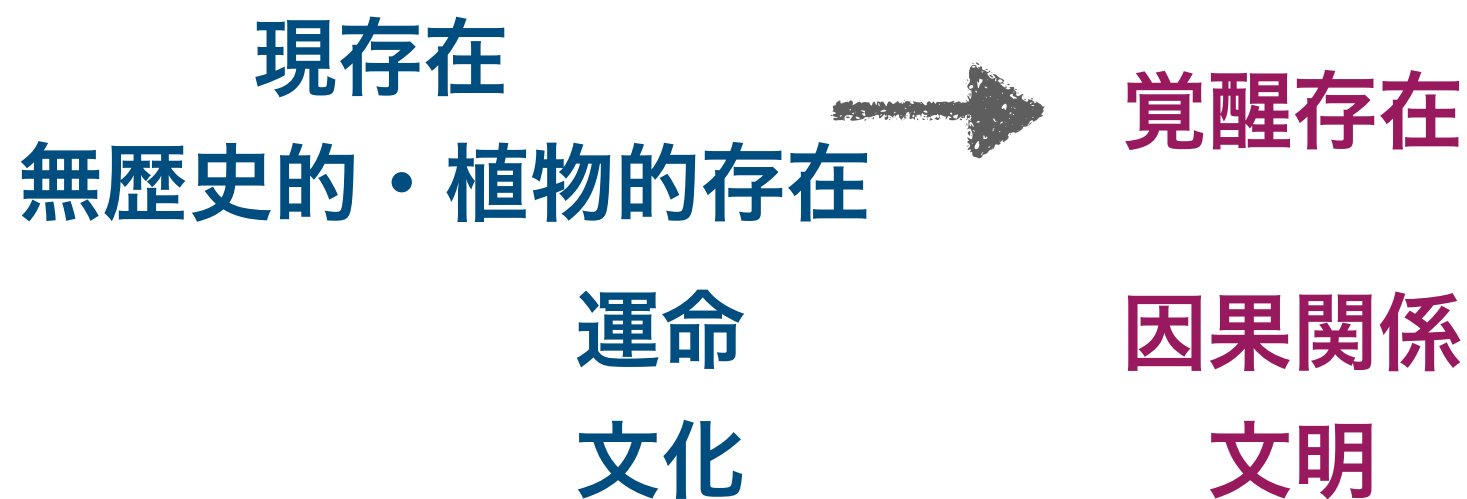


## ロシアとウクライナの総人口及びインフレ率の推移



# シュペングラー 『西洋の没落』 (1915年)

「青春、成長、成熟、衰退・・・これらの言葉を、  
有機的状态の客観的な記述と見たまえ・・・世界  
史の像の発展してゆくのが見られるのであろう」



「歴史現象の相同性」 千数百年のタイムスケール

「文明とは取り消し難くも一つの終末である」



# 「歴史現象の相同性」

ギリシア・ローマ

プラトン

アレクサンドリア科学

カエサル

アウグストゥス

西洋

皇帝主義

ルネサンス

近代科学

プーチン？

宗教改革

文明の進展と共に、「貨幣の独裁」に至る。

「貨幣が知性を破壊し去ったのちに、デモクラシーは貨幣によってみずから破壊される」

「未来の権力者・・・貨幣支配時代のあらゆる利益の反対であり、高い名誉感と責任意識とを要求する」

# 「歴史現象の相同性」

ギリシア・ローマ

プラトン

アレクサンドリア科学

カエサル

アウグストゥス

西洋

**皇帝主義**

ルネサンス

近代科学

プーチン？

宗教改革

「リベラルな概念は時代遅れのものとなった。国民の大多数の利益と相反するものとなっている。」（プーチン大統領、6月）

「「リベラリズム」「民主主義」「人権」という西側のレトリックの背後には、不平等、不公平、手前勝手の政策、および独自の例外主義の信念が伴っている。」（ラブロフ外相、9月）

## おわりに

資源・エネルギーの不可避的減少は、それらに依存した経済活動の物理的縮小を約束しており、数学的成長を前提とした金融と齟齬をきたし、経済に打撃を与える。そして、政治の崩壊を食い止めることが課題となる。

「みんな神経衰弱を起して、始末がつかなくなったら時、王者の民蕩々たりと云う句の価値を始めて発見するから。」

(夏目漱石『吾輩は猫である』)